

# アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名 [ 赤穂市立高雄小学校 ] 担当教諭 [ 長安 健太 ]			
児童生徒の学年・参加人数 (複数学年であれば学年別に): [ 4年 29名 ] [ 年 名 ] [ 年 名 ]			
実施期間: 平成18年9月～11月			
実施教科・時数 (関連させたものをすべて)	教科	単元名	時数
	総合学習	「きみのためにできること」	12
	国語	「伝え合う」ということ	9

■主な活動の流れを教えてください。

時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
9月	(1)テーマへの導入 国語科「伝え合う」ということ、という単元でグループごとに指定されたアジアの国々について本やインターネットで調べた。そして、調べたなかから、困っていること、自分たちにできること等を中心に文章を書き、一人ずつスピーチをした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持って調べ学習をすることができていた。まさか、同じアジアの国の人々がいろいろなことが原因で困っているとは……。というのが共通する思いであったと思う。自分たちにできることは何かを考えさせて、その思いを伝えさせようとスピーチの場を設定したが、聞いている側も一人一人の願いをしっかりと聞き入れており、「自分たちもどうかしたい」という雰囲気にならなくなっていったように思う。</li> </ul>	国語
9月 下旬	(2)企画検討 総合学習の大きなテーマを「きみのためにできること」とし、歌を作ってアジアの平和を伝えるチーム、自分たちにできることは何かを考え実行するボランティアチーム(実際にはほとんど活動することができなかった)、アートマイルの下書きやテーマを考え、実際に各場面では他の児童に指示を与えるなど、アートマイルを中心となって成功させていく絵のチームの3つのグループにわかれて、それぞれ活動の場をもった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム分けは教師が行った。理由は「自分は絵が好き、得意」ということに気づいている児童は多いが、「自分は歌詞がかける、詩が得意」ということに気づいている児童がいないため、どうしても自分から歌詞製作に意欲的な児童が出てこないと判断したためである。反省点は、テーマが大きすぎて、全体のテーマ(理想)に対しての時間が圧倒的に少なくボランティアチームの活動が結局できなかったことだ。片手間(というのも失礼だが)で行うような活動ではないということに気づいてから自然に絵チームに淘汰されていった。最初から、しっかりしたビジョンを持って臨めばよかったと思う。</li> </ul>	総合
10月 月上旬	(3)制作 絵のチーム(8名)が中心となり、下絵、着色と進めていった。絵の原案は絵チームの一人が下絵として描いてきたものを採	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下のほうで手をつないでいる人間は全部で30名。これは児童数29名+教師1名が一人ずつ描いた数である。できるだけ人種、国</li> </ul>	

<p>11月 上旬</p>	<p>用した。</p> <p>(4)鑑賞・振り返り 11月2日に行われた校内音楽会で、歌チームが中心となって制作したオリジナルの歌「きみのためにできること～キラキラアジア未来～」を歌った。その歌の途中で観客に完成したアートマイルをお披露目した。</p>	<p>籍に偏りがないようにそれぞれの指示し描くようにした。最後に私が描いたさむらいが浮いてしまい反省している。子どもたちは、私が指示するのではなく、絵チームを中心にして自分たちで準備や片付けを行っていった。それだけ、児童にとって興味があることだったのだろうと思う。また、昨年同校の6年生が描いたアートマイルが外国で展示されている様子をインターネットで見てから、「自分たちが描いた絵が海外にいくんだ」と実感し、そのことも児童達の意欲付けになったのではないかと思う。</p> <p>・ 音楽会に塩飽さんが来てくれることを児童に言うときごく喜んでた。そして、音楽会後の塩飽さんの感想を告げると、達成感と喜びにあふれた笑顔を見せてくれた。また、2月に入って国語科で「今年（4年生になってから）の重大ニュースを2つ選ぼう」という話し合いでは、アートマイルが一番に全員一致で決まった。ちなみに、もう一つは未だに決まっていない。それだけ、印象にのこっているであろうと思う。</p>	
-------------------	--	---	--

■設定した学習目標と得られた成果について教えてください。（空欄箇所は先生が設定した目標をご記入下さい）

（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	実感	手だて	評価方法
人の役に立とうとする力	5・④・3・2・1	具体的には出来なかった	調べ学習や作業の態度
違いを認める力	5・4・③・2・1	普段の話や授業から	つぶやき等
発想・構想力	5・4・③・2・1	全体に対しては出来なかった	
表現力	5・4・③・2・1		
学習を追究する意欲	5・4・3・2・①	出来なかった	
異文化・自文化の理解	5・④・3・2・1	アジアについての調べ学習	スピーチ
協同作業をする力	⑤・4・3・2・1	グループによる作業	作業の様子

■今回の取り組みの成果と課題はズバリどういった点でしょうか？

成果	課題
<p>結果論であるが、国語科で行った今回の導入で、「アジアについて調べた」結果、そこに潜む問題点や改善点を自分たちで見だし、「自分たちにできることは何かないかなあ。」という思いを自分たちで持てたことが良かった。お金を送るとか、食べ物を粗末にしないとか等の方法もあるけれども、こういう方法でもできることがあるんだ</p>	<p>時間的な問題もあるが、導入にもっともっと時間をかけることができれば、アートマイルがきっかけで他の様々なことを知ったり、考えたりできたのだろうなあと思う。活動の流れでも書かせてもらいましたが、歌、絵、ボランティアの3本柱で進めていくという壮大なテーマがやはり破綻してしまった点も反省する。ボランティア（国</p>

よ、ということで、アートマイルを紹介し「やろう！」という声が自然に上がった時点で成果はあるのではないかと思う。そこからは、自分たちでどうしたらいいか考え、自分たちで行動することができた。勿論、途中遊んでしまったり共同作業ができなかったり、ねらいからずれた発言や行動をしてしまったりしたこともあったが、その分、完成したときの感動も大きかったのだろうと思う。たくさんものを子どもたちに得させることができたのではないかと思う。

際理解)の授業は、「体験」や「イベント」で終わってはないのではないかと、途中で私自身が気づき、中途半端にやってしまうことによる危険性についてあまりよく考えていなかった。

子どもたちが作った歌の詩にもあるのであるが、まずは「知ること」。その「知ること」のきっかけがアートマイルであればそれはそれで素晴らしいのではなかったのかと思う。